

氏名（ふりがな）：香川 敏幸

英文表記：Toshiyuki KAGAWA

現職の所属・役職：慶應義塾大学名誉教授

英文表記：Professor emeritus, Keio University

専門分野：経済政策論、比較体制論、中・東欧地域研究

主たる研究テーマ：ガバナンス論による体制比較分析

略歴（学歴・職歴）（10行以内）：

1972年3月 慶義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得後退学

4月 亜細亜大学経済学部助手

1973年4月 同学部専任講師

1977年4月 同学部国際関係学科助教授

1981年10月 広島大学経済学部助教授

1985年4月 同学部教授（1986年～大学院社会科学研究所博士課程経済学専攻担当）

1991年4月 慶應義塾大学総合政策学部教授

1994年4月 同大学院政策・メディア研究科委員（修士課程、1996年～博士課程担当）

2010年3月 同大学定年制度適用により退職（4月～現在、同大学名誉教授）

主たる著書・論文等（5点以内）：

「第3章 市場ガバナンスの制度的条件」（単著），岡部光明編『総合政策学の最先端Ⅰ：市場・リスク・持続可能性』慶應義塾大学出版会，2003年，pp.53-75.

『総合政策学の最先端Ⅳ：新世代研究者による挑戦』（共編），慶應義塾大学出版会，2003年.

『グローバル・ガバナンスとEUの深化』（共編著），慶應義塾大学出版会，2011年.

「第1章 体制の収斂か？－私の比較体制論講義－」（単著），市川顕・稲垣文昭・奥田敦編著『体制転換とガバナンス』ミネルヴァ書房，2013，pp.1-23.

「経済政策論の変遷（1）－比較経済体制論－」『公共選択』第61号，2014，pp.95-108.

「【共生の系譜】『生』に帰一する思想と実践」（単著），笠井賢紀・工藤保則編『共生の思想と作法 共によりよく生き続けるために』法律文化社，2020年，pp.63-73.

WEB ページ（任意）

https://vu.sfc.keio.ac.jp/faculty_profile/cgi/f_profile_e.cgi?id=282aeb30c31a91f4